

# 子どもが学びをつなぐ生活科学習

## 生活科

間瀬田 恵美



### 研究テーマについて

#### 1 深い学びのある授業のなかで見えてきた子どもの姿

生活科学研究部では、「身近な人々、社会及び自然を自分とのかかわりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする事」を大切にしながら、研究を行ってきた。昨年度は「これまでの学びを生かし、生活を豊かにする子どもの育成」をテーマに研究を行った結果、下記のようなことが明らかとなった。

- 自分の思いや願いをかなえるために、これまでの学びを生かしながら、試行錯誤する姿が見られるようになった。
- 授業での学びを実生活で生かしたり、実生活での学びを学習につなげて気付いたりすることができるようになった。
- 伝え合い交流する場の設定を工夫したり、ふりかえり表現する機会を設定したりした。しかし、自分の気付きと友達の気付きを比べたり、気付いたことを基に再考したりすることができるようになるために、手立てを工夫する必要がある。



1年生のときに2年生に連れて行ってもらったみたいに、今度は私が1年生にしてあげたいな。

#### 2 学びをつなぐ姿

- 新しい課題に出合った際、これまでに学んだことを生かして解決したり、授業での学びを各教科等で生かしたりする姿
- 自分の気付きと友達の気付きを関連付けたり、気付いたことを伝え合ったりすることで、新しい気付きを生み出す姿
- 学校での学びと実生活での学びを双方向に生かそうとする姿



### 総合的な学習の時間及び特別活動とかかわる資質・能力について

生活科学習は、総合的な学習の時間における探究的な学習の基礎段階と考える。生活科においては、「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」等の多様な学習活動を行ったり、思いや願いを存分に発揮しながら具体的な体験をとおして気付いたこと等について多様に表現し考えたりする。そうすることで、探究的な学習の仕方の基礎をつかむことができるのではないかと考える。

特別活動において、自然体験や社会体験、自分自身を見つめる活動をとおして、自分のよさや可能性に気付き、意欲と自信をもって生活しようとする事が、生活科学習の目標である自立への基礎を養うことへつながるものである。

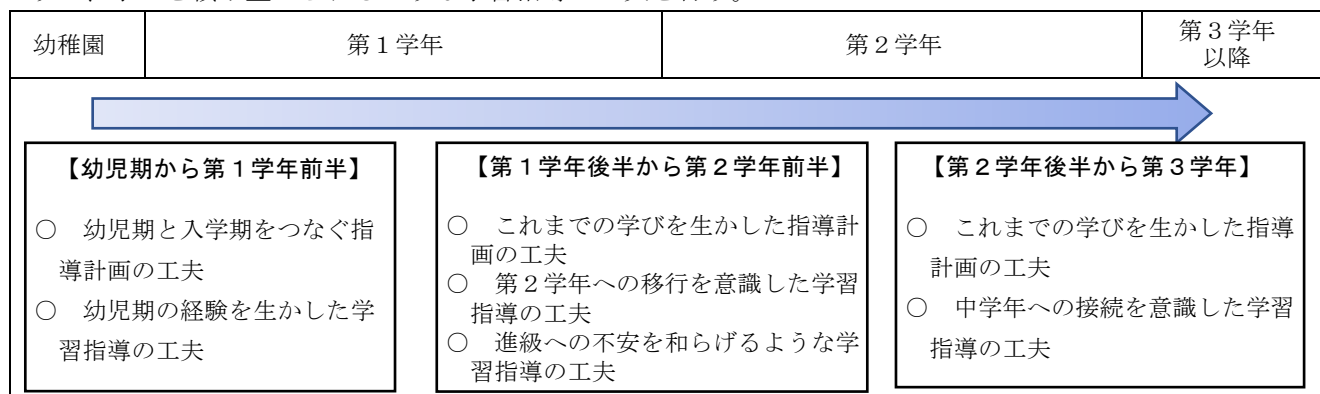
生活科は、各教科等とつながるだけでなく、各教科等における資質・能力を双方向につなげる役割があると考えられる。さらに、幼児教育で育まれた資質・能力を低学年につなぎ、低学年で育まれた資質・能力を中学年以降につなぎ役割がある。そのように学びを繰り返すことで育まれた生活科の資質・能力は、子どもが生涯にわたって活用する力につながると考える。

## 研究内容

- 1 「学びをつなぐ」姿を実現するための学習指導の在り方
- (1) 生活科と各教科等を双方向につなぐ単元構成の工夫
- (2) 幼児期と低学年、低学年と中学年以降の学びをつなぐ指導の工夫

## 研究内容の基本的な考え方

- 1 「学びをつなぐ」姿を実現するための学習指導の在り方
- (1) 生活科と各教科等を双方向につなぐ単元構成の工夫 →【横断的な学びのつながり】
- 生活科は未分化な教科であり、各教科等や学校・家庭の枠を超えて学びが継続するものである。低学年という発達の段階から、生活科と各教科等の内容だけではなく、資質・能力的な関連も意識することで、活動への子どもの思いや願いを高めることができると考える。そのため、各教科等を合科的・関連的に指導することで、各教科等との学びを効果的につなぐようにする。
- また、教師は、子どもの思いや願いを考慮した単元構成を行うことや学校と家庭での学びをつなぐコーディネーターの役割を果たすことが重要であると考え。そのため、学びをつなぐような手立てを計画的にとるようにする。
- (2) 幼児期と低学年、低学年と中学年以降の学びをつなぐ指導の工夫 →【縦断的な学びのつながり】
- 幼児期と第1学年における学びを、第2学年での学習に生かすとともに、第3学年においても生かせるように、学びを積み重ねられるような学習指導の工夫を行う。



【低学年カリキュラムのイメージ図】

研究内容(1)(2)は、カリキュラム・デザインにかかわるものである。本年度は「活用できる掲示物」「単元構成・指導計画・指導過程」「学習プリント」「ふりかえり」の充実・工夫を図ることで、学びを横断的・縦断的に生かすことができるようにする。

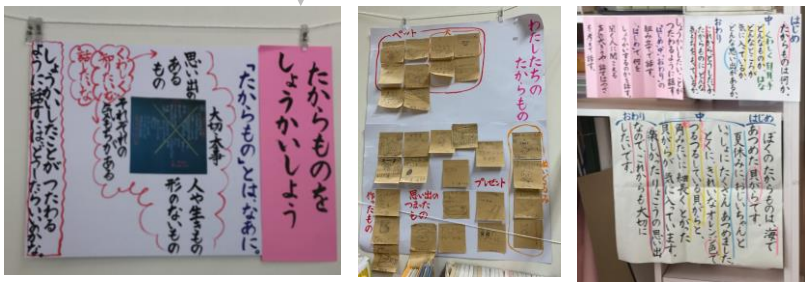
## 研究の実際

- 1 「学びをつなぐ」姿を実現するための学習指導の在り方
- (1) 生活科と各教科等を双方向につなぐ単元構成の工夫
- 学校での学習と家庭での学びがつながるよう、「町探検」の活動を年間をとおして意図的に組み込み、下記のような実践を行い、それぞれの地域や季節、時間帯を比べ、違いに気付くことができるようにした。

	実施時期	学びの場	内 容
①	4～5月	家 庭	臨時休校中、各家庭で「自宅周辺のミニ町探検」を行うよう依頼した。
②	6～7月	生活科	①の伝え合いを行い、自分と友達の家周りのような違いを比較させた。その経験を生かし、学校の周りの「町探検」を行い、まとめる活動を行った。
③	8月 (夏休み中)	家 庭	親子での家庭内実践のテーマを「町探検」とした。自宅周辺の探検を行うなかで、地域の人にインタビューをしたり、地域にある物について調べたりすることができた。
④	9～12月	生活科	③の伝え合いを行い、さらに詳しく調べるための「町探検」を数回行い、まとめる活動を行った。
⑤	1～2月	生活科	これまでの「町探検」を様々な方法でまとめ、発表を行う。(予定)

【実践④ 第2学年「大すき！わたしの町のたからもの」単元指導計画 一部抜粋】

議題	【生活科】 主な学習活動及び学習内容	【生活科の別単元・各教科等】 主な学習活動及び学習内容	教師のかかわり ●研究内容1 ■研究内容2 ▲学びをつなぐ	具体的な評価規準
生 み 出 す (7)	<p>1 これまでの学習をふりかえり、学習計画を立てる。(7時間)</p> <p>○ PTCA活動家庭内実践の伝え合い、1学期の探検のふりかえり(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場所の様子がちがうね。</li> <li>お店の人にインタビューしたのね。私も、今度、お話ししてみようかな。</li> <li>小松川をもっと知りたいな。</li> <li>もう一度行ってみたいな。</li> </ul> <p>○ 町探検・ふりかえり(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この間よりも人や車が多いよ。どうしてかな。</li> <li>やっぱり小松川の上にあるものが何なのか不思議だな。</li> </ul>	<p>【国語】「たからものをしようかいしよう」</p> <p>○ 自分の宝物に関連する出来事や思い出の想起(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私の宝物は、小さいころから一緒にいるぬいぐるみだよ。思い出がいっぱいあるから。</li> <li>私の宝物のことも伝えたいな。</li> </ul> <p>【国語】「たからものをしようかいしよう」</p> <p>○ 宝物を紹介する準備(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メモ作り</li> <li>ペアで練習・発表</li> <li>私の宝物のことをみんなに伝えたいな。</li> <li>友達の宝物も素敵だね。</li> </ul>	<p>● 自分の宝物を紹介する活動に興味をもたせることで、本単元で行う「町の宝物探し」への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>▲ 夏休み中に家庭で行った町探検について伝え合わせることで、自分の家や学校の周りの様子と比較したり、それぞれの地域のよさを感じ取ったりすることができるようにする。</p> <p>●■ 1学期の探検時に作成した絵地図と探検のまとめを再度見せることで、解決できなかったことを想起させ、解決したいという思いを高めることができるようにする。</p> <p>● 自分の宝物を紹介する方法について知らせ、実際に伝える活動を行わせることで、伝えたいことを伝えるための方法を身に付けることができるようにする。</p> <p>●■ 前回と同じ場所を探索することで、前回と比較したり、違いについて多面的・多角的にとらえたりし、新たな気づきを生むことができるようにする。</p>	<p>○ 地域の様子に関心をもち、それぞれのよさを感じている。(態度)</p> <p>【観察・発表】</p> <p>○ 紹介したい宝物について、話す内容を考え、分かりやすく伝えている。(思・判・表)</p> <p>【学習プリント】</p> <p>○ 学校のまわりについて、もっと知ろうという思いをもっている。</p>
挑 む	<p>○ 2回目の町探検「宝物探し」(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人や車の多さは、いつも同じではないのだね。時間が関係あるのかな。</li> <li>この間見付けた大きな石が好きだな。今の宮崎大学に行ってみたいな。</li> <li>小松川のカニがかわいいな。</li> <li>郵便局にポストがあったよ。</li> <li>宝物って、何だろう。</li> </ul> <p>○ 図書室での調べ学習(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の図書室探検</li> <li>小松川が載っている本は、図書室では見付からないな。</li> <li>小久保先生に聞いたら分かるかな。</li> <li>図書室にある本は、物語が多いんだね。</li> </ul> <p>○ 探検のまとめ(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私の宝物がいっぱい素敵だと思うな。</li> <li>みんなはどんな宝物を見付けたのかな。</li> <li>まだ、「大すき」ではないなあ。</li> </ul>	<p>6月現地指導(宮崎大学2年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像の視聴</li> <li>「大学探検プラン」作成</li> </ul> <p>【校外学習】「大学探検」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 大学についての疑問を書き出す。</li> <li>② 探検の計画を立てる。</li> </ol> <p>【国語】「同じところ、ちがうところ」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習課題をつかむ。</li> <li>② 2つの物について観点を決めて比べ、比べて分かったことをまとめる表のかき方を身に付ける。</li> <li>③ 表を基に、文章を書く方法について考える。</li> <li>④ 比べて分かったことを整理して文章を書く。</li> </ol> <p>【国語】「たからものをしようかいしよう」</p> <p>○ 町の宝物について話すメモ作り(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宝物の素敵などところをしっかりと伝えたいな。</li> <li>最初に何について話すのかを伝えると分かりやすかったよね。</li> </ul> <p>○ ペアで練習(1)</p>	<p>○ 身近な場所である図書室を、施設ととらえて見学することで、いつもとは異なる見方で、新たな気づきを生むことができるようにする。</p> <p>● 国語での学習をふりかえることで、見付けた宝物を相手と分かりやすく伝えることができるようにする。</p> <p>● ペアで練習を行わせることで、必要に応じて絵を用いたり、身振り手振りで表したり、地図を示したりするなどの工夫が必要なことに気付くことができるようにする。</p> <p>▲ 宝物を見付けられなかった場合、今後の活動において探していけばよいことを伝えることで、愛着がないものを無理に宝物にすることがないようにさせる。</p> <p>● 国語での学習と同じ方法で紹介させることで、話したり聞いたりする力を活用することができるようにする。</p> <p>■ グループで分かち合って伝え合う活動を行うことで、プレゼン</p>	<p>○ 宝物を先行しようという意欲をもって、町の様子を観察している。(態度)</p> <p>【学習プリント・観察】</p> <p>○ 図書室の仕組みや目的について気付いている。(知・技)【観察】</p> <p>○ 見付けた宝物を分かりやすく伝えようとしている。(態度)【観察】</p> <p>○ 紹介し合うこと</p>



【国語科で使用した資料の掲示】



【他教科での学びをつないだ例】

5月算数科「表とグラフ」、11月国語科「同じところちがうところ」での学習を生かし、見学のまとめにおいても、表をかいて、項目を立てて分類する姿が見られた。

関連性のある国語科単元を本単元と並行して学習した。使用した資料を掲示し活用したことで、国語科での学習を生かし、町の宝物をより分かりやすく紹介することができた。

国語の発表のときに絵があると分かりやすいと思ったから、今度は絵を使って紹介したよ。



子どもの意識の流れを中心に指導過程を作成し、各教科等と内容的・技能的関連を図ることで、思いや願いをつなぎ、各教科等での学習内容を定着させたり活用したりすることができた。さらに、生活科や各教科等で使用した思考ツールや表現方法をその他の教科でも使用する姿が見られた。

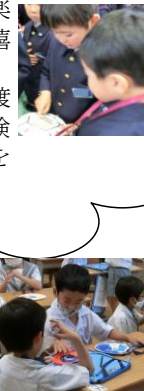


## (2) 幼児期と低学年、低学年と中学年以降の学びをつなぐ指導の工夫

「幼児期から第1学年前半」「第1学年後半から第2学年前半」「第2学年後半から第3学年」の学びと子どもの意識のつながりを表にまとめ、これまでの学びを今後の指導計画に生かすことができるようにした。また、単元構成表のなかに、研究内容(1)の各教科等や実生活とのつながりも含めることで、実際の授業でこれまでの学びを想起させ、学習活動に具体的に生かすことができるようにした。

### ① 2年間を見通した単元構成表の作成

1年生の頃、歓迎小音楽会でメダルをもらって嬉しかったな。今年中止になって渡せなかったから、学校探検のときの目印で、メダルを作って渡そう！



人とかかわり	時期・主な行事等	生活科学学習	各教科等での学び 実生活での学び
幼児期の学び			
2年生 「歓迎小音楽会」 歌の発表 メダルのプレゼント	平成31年4月入学 学校行事 「歓迎小音楽会」 「春の遠足」	4月「1年生になったよ」 ○ 名刺交換ゲーム ・「6年生にも名刺をプレゼントして、仲良くなりたいたいな。」 ○ 学校探検 ・「もっと学校のことを知りたいな。」 ・「誰かに教えてもらいたいたいな。」 ・「運動場や花壇に花が咲いているよ。」	国語・道徳・挨拶 スタートカリキュラム 関連単元の実施
2年生 「学校探検」	4月「学校のまわりをたんけんしよう」 ○ 学校のまわりの探検 ・「いろいろなものがあるんだね。」 ・「児童児童公園では、カエルを見つけたよ。学校にもいるかな。」 PTCA活動 ○ セオリーブの観察 ・「いろいろな木や生き物がいたよ！」 ・「附属幼稚園に行ってみよう。」 ・「葉っぱで、しおりが作れるんだね。」	○ 花を育ててみたいな ・「ぐんぐんそだて（あきがお）」 ○ 種の観察 ・「いろいろなものがあんだね。」 ○ 種まき ○ 観察・お世話 ・「つるが伸びてきて大変！」	・「この種は見たことがあるよ。」 ・「幼稚園生のころ、種まきをしたよ。」 ・「幼稚園生のころ、種を育てたよ。」
地域の人々	PTCA活動 ○ セオリーブの観察 ・「いろいろな木や生き物がいたよ！」 ・「附属幼稚園に行ってみよう。」 ・「葉っぱで、しおりが作れるんだね。」	6月「季節さがし」 ○ 夏探し① ・「ぐんぐんそだて（あきがお）」 ・「花が咲いたよ。」 ○ 色水遊び ・「入れる花の量や水の多さで、色が変わるのだね。」	・「家でも育ててみたいな。」 ・「色水遊びをしたことがあるよ。」

【単元構成表「幼児期から第1学年前半」抜粋】

### ② 「学習プリント」・「ふりかえり」の工夫

第1学年時は、絵と文章で記入する同じ形式の学習プリントを使用していたが、第2学年では各自の考えで活用できる自由枠を設けた学習プリントを取り入れた。自由に思いや願いを記入できることから、自分の考えをまとめたり、困っていることについて友達と話し合ったことを記入したりすることができ、気付きの質の高まりが見られた。さまざまな活用例を紹介することで、思いや願いをより伝えられるようになった。思いや願いを表現しやすい方法でまとめる経験を積み重ねたことにより、紙芝居やペープサート等の表現方法へ発展させることにつながった。

おもちゃランドへようこそ！

(11)月(25)日 天気(くもり)

ぼん 名まえ

① よかったところ  
90やさいなていけんしちこんマシタ。

② わるかったところ  
おせんいさき大きすぎる  
おまわりまじしそいりかた。  
おせつりかた。

おまわりまじしそいりかた。  
おせつりかた。

ようちえんが、おまわりまじしそいりかたので  
元気にせつりかた少しおまわりまじしそいりかたので  
うれしいうちへおまわりまじしそいりかたので  
おまわりまじしそいりかたので、おまわりまじしそいりかたので  
おまわりまじしそいりかたので、おまわりまじしそいりかたので

たりないもの  
おまわりまじしそいりかたので  
おまわりまじしそいりかたので  
おまわりまじしそいりかたので  
おまわりまじしそいりかたので

「よかったところ」と「わるかったところ」について、ふりかえろう。

解決するための方法を友達にも聞いてみよう。  
国語の時間に使った方法で、分けて書こう。



## 今年度の研究のまとめ

### 1 「学びをつなぐ」姿を実現するための学習指導の在り方

#### (1) 生活科と各教科等を双方向につなぐ単元構成の工夫

- 各教科等や実生活との学びをつないだことで、思いや願いをつなぐだけでなく、主体的にこれまでの学びを想起する場面が表れ、内容の定着・充実・活用を図ることができた。
- より効果的に学びをつなぐために、合科的・関連的指導の在り方について、さらに追究していきたい。

#### (2) 幼児期と低学年、低学年と中学年以降の学びをつなぐ指導の工夫

- 2年間の学習内容を踏まえて系統的な活動を行うことで、以前と現在の自分や友達について比べ、成長を実感することができ、自信につなげることができた。
- これまでの学びを次年度に生かすことができるように学習プリント等の蓄積や新学年への引継ぎを行う必要がある。

参考文献：「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（生活編）	国立教育政策研究所	2020
発達や学びをつなぐスタートカリキュラム	国立教育政策研究所	2018
「深い学び」を表現するカリキュラム・マネジメント	田村 学 文溪堂	2019
生活科はこうすればどうだろうか	宮崎大学教育学部附属小学校【編著】 北大路書房	1990